

研究課題名	新生児・乳児ヒトパレコウイルス 3 型感染症の臨床経過と検査値の推移
研究体制	■長野赤十字病院が責任研究機関となる
研究責任者	当 院 所 属 <u>小児科</u> 氏名 <u>天野 芳郎</u>
研究期間	(西暦) 2017 年 2 月 ~ 2017 年 3 月
研究の概要	<p>(研究の意義・目的)</p> <p>最近、ヒトパレコウイルス 3 型 (パレコ 3 型と略します) というウイルスの感染症が新生児や乳児に重大な疾病を引き起こすことがわかってきました。日本では 2006 年、2008 年、2011 年、2014 年にパレコ 3 型が流行しましたが、長野赤十字病院でも 10 名の新生児・乳児が入院しました。長野赤十字病院には比較的早期に入院したことから、新生児・乳児にパレコ 3 型が感染した際の症状の変化や、血液検査データの変化が時間を追って検討できます。</p> <p>パレコ 3 型は 2、3 年毎に流行しているので、2017 年には再び流行する恐れがあります。その際に 2014 年の当院での経験からの知見が、実地臨床で役に立つと考えられます。</p> <p>(研究方法)</p> <p>2014 年の 8 月~10 月に長野赤十字病院に入院した小児のうち、診断治療のためにパレコ 3 型の検査を行って、パレコ 3 型感染症と診断した 10 名のお子さんの年齢、性別、有熱期間などの臨床データと、白血球数、炎症反応値、肝機能などの血液検査データの推移を、当時の診療録から検討します。</p> <p>これまでの予備的な検討では、全例が高熱、頻脈、腹部膨満など重篤な症状がありました。高熱と頻脈は第 4 病日から改善し、重症で高熱があるにも関わらず白血球数、CRP 値は上昇せず、解熱して一般状態が改善した第 3 病日以降に凝固能異常や肝障害、ferritin 値の異常が明らかになりました。この結果は、パレコ 3 型感染症の新生児・乳児を診療する際有益な所見だと考えています。</p>
研究対象者	<p>2014 年の 8 月~10 月に長野赤十字病院に入院した小児のうち、診断治療のためにパレコ 3 型の検査を行って、パレコ 3 型感染症と診断した 10 名</p> <p>※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。</p>
個人情報保護の方法	■連結可能匿名化

お問い合わせ先

〒380-8582

長野県長野市若里五丁目22番1号

長野赤十字病院

所属 小児科 氏名 天野 芳郎

TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439